

「慰安婦」と「挺身隊」の区別ができていなかった「挺対協」

金柄憲 韓国国史教科書研究所長 ソウル慰安婦像前での演説
『赤い水曜日』著者（韓国語版未来社、2021年）
（日本語訳版文芸春秋社、2022年）

この本（金氏が掲げている本）がなにかというと挺対協で発刊された本です。
証言集です。

強制的に引っ張って行かれた朝鮮人慰安婦だと言いました。

ところで、これを発刊した主体が誰かということ、
韓国挺身隊問題対策協議会韓国挺身隊研究所です。

挺身隊とは何ですか？

挺身隊とは、それこそ選抜されて選ばれた人達のことを挺身隊と言います。

労働者として、特に若い女性の労働者が選抜されていった人たちのことを挺身隊と言います。

なのに「挺身隊」を扱うための対策協が「慰安婦」の問題をなぜ扱うというのですか？

慰安婦の問題と挺身隊と一体何の関係がありますか！！

この無知なものたち！！挺身隊と慰安婦の区別ができない！！

挺身隊が慰安婦だと勘違いして、そして挺身隊と言っている！！

後で見ると、これは何かが間違っている。

それで、何かこれ慌てふためいて名前を変えたんです。

何に変えましたか？「正義記憶連帯」と変えました。

紛らわしいこの名前一体、何の意味でしょうか！！

どのような「正義を記憶しよう」というのでしょうか！！

慰安婦が「正義」と何の関係がありましようか！？

一体どういった意味の正義の記憶連帯なんですか！！

「正義」とは何でしょうか！？

正しい歴史を子供たちに教え、正しい歴史を認識して、それを後世にのこしてあげることが「正義」なのです！

『歴史を歪曲』することを「正義」というのですか！？？

とんでもない「正義記憶連帯」！

「挺対協」と名前を付けてよく見たら、話にならないから、これつじつまが合わないから全部変えた名前が「正義記憶連帯」じゃないですか！

しっかりしろ！！無知なものたち！！

これからが始まりだ！